

WOOD LETTER

Ψ moku推し Ψ

令和7年2月vol.53



森林環境譲与税 ご担当者の皆様へ

平素より、東京の木 多摩産材をはじめ国産木材の利用推進についてご理解及びご協力をいただき誠にありがとうございます。

2月も終わりに近づき、少しずつ春の足音が聞こえてくる季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか？この冬は特に寒さが厳しかった日が続き、屋外では冷蔵庫の中のような状態のため体温の調節が大変でした。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。皆さまも体調管理にお気を付けて、元気にお過ごしください。

ということで今月も“Wood Letter Ψmoku推しΨ”vol.53をお届けいたします。ぜひともご参照いただき、貴団体内の関係する部署にも転送いただくなどご協力をお願い申し上げます。

：森づくり推進担当一同：

(1) 小さな多摩の森を探そうフェア開催中 ～「多摩の森」活性化プロジェクト～

都内13区市町村（令和7年2月現在）と東京都は、森林環境譲与税を活用して多摩地域の森林整備等事業を進める“「多摩の森」活性化プロジェクト”に取り組んでいます。

同プロジェクトでは参加自治体の連携により、森林整備（間伐）事業や現場体験事業などを進めておりますが、このたびプロジェクト事業を始め、森林環境税・森林環境譲与税、東京都の森林・林業等を広く都民にPRするための広報事業の一環として、「東京各地にある小さな多摩の森を探そうフェア」を開催していますので、ご紹介します。

このフェアは、書店キャンペーン（多摩の森関連図書の特設コーナー設置、多摩産材ブックカバーの配布）、森林をイメージした巨大広告の掲出などを通じて、都民の方に多摩の森林を身近に感じられる体験をしていただくことを目的としています。

フェアに伴い開設した特設webサイトでは、一連の取組の紹介のほか、多摩の森林を舞台にした森林体験コミックエッセイや森林体験ナビゲート動画などもお楽しみいただけます。みなさんも、この機会にぜひ、ご覧になってください。

みんなで育む 東京の森
「多摩の森」活性化プロジェクト

東京の森ブックフェア

森林体験コミックエッセイ

森林体験ナビゲート動画

森林サイズ巨大広告

東京の各地にある
小さな多摩の森を探そう
フェア

2025/1/24～2025/3/31

NEW
2025/1/24～2/23
東京の森ブックフェア
スタート

URL : <https://tamatokusp2024.com/>

（２）公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト 制度の一部改正

平成30年度にスタートしました区市町村向け補助事業「公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト」につきまして、令和7年度より制度の一部を改正する予定です。

主な改正点として、木造化への支援を拡大いたします。木造化の工事費は1区市町村当たりの支援額を単年度6,000万円（補助率1/2）に倍増し、新たに設計費を対象として1区市町村当たりの支援額を単年度3,000万円（補助率1/2）に設定いたします。これらの木造化の支援額は下記の他の区分の支援とは別枠となります。なお、木造化以外の支援は、対象経費の総額に対し1区市町村当たりの支援額は前年度と同様、単年度3,000万円（補助率1/2）までとなります。

「債務負担行為」につきましても、対象とできる期間を2年間に3年間に拡大いたします。債務負担事業の補助金額は、全額が事業開始年度の補助金額として各単年度事業の枠に加算されます。

また、木製什器の整備での多摩産材の使用量を昨年度までの50%以上から30%以上に緩和いたします。

引き続き多摩産材をはじめとした国産木材の活用をご検討ください。

区 分	補助上限額	事業の内容
木造化	工事費 6,000万円 設計費 3,000万円	建築物の構造材に多摩産材をあらわして使用する木造建築物 ＊混構造建築物の場合は、木造部分
内装木質化	総額 3,000万円	床、壁、建具等の仕上げ材として多摩産材を使用する内装木質化 ＊多摩産材の使用量は、1㎡当たり0.01㎡以上
木製遊具の整備		多摩産材を使用した定置型木製遊具の整備 ＊多摩産材の使用量は、製品個々に1㎡当たり0.08㎡以上
木製什器の整備		多摩産材を使用した木製什器の整備 ＊多摩産材の使用量は、製品個々に使用される木材の30%以上
木製外構施設の整備		多摩産材をはじめとする国産木材を使用した外構施設の整備 ＊多摩産材をはじめとする国産木材の使用量は、1㎡当たり0.012㎡以上（うち多摩産材の使用割合30%以上）

（注1）いずれも、使用する多摩産材等が、日常的に利用者の目に触れられる状態にあること

（注2）補助対象経費の1/2までの金額を補助

（注3）木材利用推進方針の策定が必要（木製外構施設の整備を除く）

（３）公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト ヒアリング調書

東京都は、都民の皆様が日常的に多摩産材とふれあう場を創出し、利用拡大を図ることを目的とし、「公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト」補助事業を実施しています。この事業は、区市町村が設置する施設において、多摩産材等を活用した木造化や内装木質化、木製什器、木製外構施設等の整備を支援するものです。令和7年度の円滑な事業実施を図るため、事前にヒアリング調査を行います。（各区市町村営繕担当者宛て2月10日迄にメール配信済み）

※令和7年度に予算化する令和8、9年度執行の債務負担事業につきましては、昨年（8月）の要望調査にて受付は終了しており、新規の債務負担事業は予算枠に余裕があった場合のみ受付しますのでご了承ください。

回答期限を **2月28日（金）** とさせていただいておりますので、ご対応をよろしくお願いいたします。

＜補助事業のスケジュール＞

（１）令和6年度2月 事前ヒアリング調査（本調査）

（２）令和7年度4月～順次 ① 事業計画等提出（補助金交付申請の2ヵ月前が目安）

→ 都による承認

② 補助金交付申請 → 都による交付決定

③ 事業実施～完了、検査 → 補助金交付

(4) 公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト 令和5年度事例

この事業は、多摩産材と触れ合う場を創出し、更なる利用拡大を図るため、区市町村によるモデル的な公共施設整備に対して支援をいたします。令和5年度は13区市町村24事業に対して実施し、（令和6年度は13区市町村27事業）今回、大島町と神津島村の事例をご紹介します。

大島町

木柵の整備



神津島村

図書館什器の整備



(5) MOCTION 企画展示

木材の大消費地である東京でのさらなる木材利用の拡大に向け、国産木材の魅力を発信する拠点「MOCTION（モクション）」では全国各地の木材製品の展示が行われています。

12月26日～1月14日 もくチャレ

1月16日～1月28日 山形県



最優秀賞

優秀賞

学生コンテスト「もくチャレ第2回」受賞作品を展示。木育をテーマにしており、最優秀賞は子供たちが全身で木を感じられるユニークな形の家具「KOnoKO」が受賞



ブナやナラ等の広葉樹で作られたフローリングや皿、積み木の日用品小物を展示。ブナで作られたボールペン、シャープペン(左上)は木のぬくもりが感じられて使ってみたくなる。

1月30日～2月11日 群馬県

2月13日～2月25日 宮崎県延岡市



スギをメインに作られた未就学児向けの玩具を展示。週末は親子連れで大賑わいだった。



「延岡の木と暮らす」をテーマにビノキで作られたテーブル、椅子などの家具、木製遊具、木から抽出したオイルを展示。木製遊具は週末、子供たちに大人気

2/27～3/11は京都府の企画展示となります。ご来場をお待ちしています！

ちょこっとコラム（ご存知でしたか？こんなこと）

・森林組合の主たる組合員は誰でしょう？ ①林業従事者 ②森林所有者 ③公務員 ④森林に興味がある人

日本の森林所有者の大部分は小面積の森林しか所有していません。森林の所有面積が小さいと、森林からの収穫は間断的で少量にならざるを得ません。こうした小規模森林所有者の状況を改善するために作られたのが森林組合です。令和4年度の統計で森林組合は全国で607組合ですが、年々減少しています。森林組合は個人だけでなく市町村、財産区も組合員になることが出来ます。組合員が所有する森林面積は、全国で1,047万haであり、全ての森林面積の42%を占めます。正解は森林所有者です。

「WOOD LETTER Moku推し（ウッドレター モクオシ）令和7年2月vol.53」

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一庁舎21階中央
東京都産業労働局農林水産部森林課 森づくり推進担当
TEL03(5000)7198(直通) 担当:荒川、伊藤、小山、中田、中村

森林環境譲与税はもとより、多摩産材の利用等東京の森林・林業に関することにつきましてもお気軽にお問合せください。